

# 第2回 球磨川水系水防災意識社会再構築会議を開催！

平成27年9月関東・東北豪雨による水害を踏まえ国土交通省が提起した「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づき、概ね5カ年で実施する「球磨川流域の減災に係る取組方針」を策定するため、本年6月に流域の市町村長等を委員とした「球磨川水系水防災意識社会再構築会議」を設置しました。

その後、防災担当者等で構成された幹事会等において、球磨川流域における水害リスク情報や現在の取組に関する情報共有、球磨川の氾濫時に想定される主な課題を確認し、それらの課題を踏まえた取組方針案をとりまとめました。

今回、第2回会議を開催し、幹事会でとりまとめた取組方針案について確認し、概ね5カ年で流域内市町村、県、国が実施する減災に係る取組方針を策定しました。

日時：平成28年8月24日（水）10:00～11:15  
場所：熊本県球磨地域振興局 大会議室

## 減災のための目標

住民一人一人が水害のリスクを認識し、観光客を含めた地域の人々の「迅速かつ的確な避難」と「被害最小化」を実現する球磨川流域を目指す。

## 目標達成に向けた3本柱

- ①住民一人一人が迅速かつ的確な避難行動を実施するための、地域毎の氾濫特性に基づく水害リスクの周知による水防災意識の啓発・醸成
- ②防災に携わる関係者が顔を合わせる検討の場の創出・活用による、防災活動の着実な実施・連携体制の構築
- ③洪水氾濫時における人命・社会経済への被害を最小化するための地域と連携した備えと施設・体制の整備

## 議事内容

- ・ 幹事会等における検討経緯に関する報告
- ・ 「球磨川流域の減災に係る取組方針」の合意形成

## 意見等の概要

- ・ 取組方針のもと流域内で連携し、関係者一体となって水害に備えたい。
- ・ 想定し得る最大規模の降雨を踏まえた洪水浸水想定区域図の公表・周知が予定されているため、既存の洪水浸水想定区域図等を活用した水害リスクや防災情報の周知にあたっては、住民の方々に混乱や誤解が生じないように留意が必要である。
- ・ 住民向けの防災訓練等を開催しても、いつも決まった住民しか出席しない。いろいろな住民が参加できるよう、取組として記載してある内容について取り組んでいくことは大切である。



人吉市長



錦町長

[問合せ先]

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所 調査課  
〒866-0831 八代市萩原町1丁目708-2, 電話0965-32-4135 (代表)

